

# 看護 青い森

vol.  
**109**  
発行日  
令和3.7.15

## ナースセンターだより

### 知事メッセージ

看護職の皆様には、それぞれのお立場から、患者さんを始めとした県民の皆様にしっかりと寄り添いながら、日々業務に邁進いただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症への対応につきまして、依然として予断を許さない状況が続いておりますが、感染予防や診療、ワクチン接種などに従事されている皆様には、日夜、地域医療の最前線で御尽力いただいておりますことに、県民を代表して深く感謝申し上げます。

県といたしましては、県民一人ひとりの命と健康が守られ、将来にわたって安心してこの青森の地で暮らしていけるよう、皆様と一丸となって全力で取り組んでいきますので、引き続き、御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

令和3年7月

青森県知事 三村 申吾

### INDEX

- 会長あいさつ
- 令和3年度青森県看護協会通常総会開催報告
- 看護職の県外応援派遣
- 病院紹介
- 令和3年度「看護の日・看護週間事業」
- 2021年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル開講式
- 職能委員会コーナー
- 支部だより
- ナースセンターだより
- 医療・看護安全委員会から
- 推薦委員会からのお知らせ

令和3年度  
会員数 8,400人  
(昨年7月比 -26人)  
(令和3年7月1日現在)

保健師 239人  
昨年7月比 -7人

助産師 314人  
昨年7月比 +3人

看護師 7,510人  
昨年7月比 -12人

准看護師 337人  
昨年7月比 -10人

# 令和3年度 青森県通常総会を終えて

青森県看護協会会長 梶谷京子



青森県知事、青森県医師会長はじめ、ご来賓の皆様のご臨席を賜り、そして会員の皆様のご協力をいただき、青森県看護協会通常総会を終了したことを報告させていただきます。昨年に引き続き規模を縮小しましたが開催できたことに感謝申し上げます。

災禍が長期化する中、看護職は自らの感染リスクへの不安を強いられながらも、対象となる方々の新たな生活支援のために、力の限り努めております。何よりの希望であるワクチンの速やかな接種による収束が待たれます。

令和2年度の研修・事業の実施にあたり、感染対策に万全を期し、概ね実施することができました。加えて新型コロナウイルス感染症関係事業は、青森県や日本看護協会との契約締結による、多くの事業を実施させていただき現場の支援に努めました。大変な状況ではありますが、看護の専門性を発揮したことで、看護師として誇りを感じたのも事実です。

総会終了後の特別講演は、ケアプロ株式会社代表 川添 高志氏による「看護の力で健康な社会を～看護ベンチャーの挑戦から～」と題して開催しました。大変好評で、看護を創造する力を育むために、多くの示唆を頂きました。

令和3年度の重点事項は、新興感染症を受けて、健康危機管理体制の強化を新規に加え、令和元年度から取り組んでいる次の5項目に取り組みます。

- 1 県民を対象にした地域包括ケアにおける看護提供体制の推進
- 2 看護職の役割拡大の推進と人材育成
- 3 看護職の勤務環境改善と看護職確保
- 4 健康危機管理体制の強化
- 5 組織の強化

具体的には17の重点事業を遂行して参ります。

また青森県看護学会を「第50回記念」として開催予定です。青森県看護協会は、医療と生活の視点を軸に、専門職能団体として果たすべきことを確認しつつ、2040年を見据えて看護の力を発揮できるよう取り組んで参ります。引き続き会員の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

## 令和3年度 青森県看護協会通常総会開催報告

令和3年6月19日(土)リンクモア平安閣市民ホールにおいて、令和3年度青森県看護協会通常総会が開催されました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、規模は縮小されていましたが、会場では健康観察・手指衛生・座席のソーシャルディスタンス・出入口を一方通行にするなど、厳重な感染症対策がとられていました。

開会にあたり、令和2年度にご逝去された会員の方々へ黙祷を捧げました。

梶谷会長の挨拶では、「新型コロナウイルス感染症関係事業について」、「令和3年度は青森県看護協会重点事項、3か年計画の3年目で節目の大切な年であること」、「今年度は青森県看護学会第50





三村 青森県知事



特別講演はオンラインで開催しました



対馬 庸子 様

回記念の年であること」などのお話がありました。また、三村青森県知事、中路青森県医師会副会長から、日々の看護活躍の場に対する温かい労いのご祝辞をいただきました。

通常総会では、参加者6,914名(当日出席者74名、委任者6,840名)の総会成立宣言の後、全議案について可決・承認されました。

式典では、青森県看護協会名誉会員として、対馬庸子様が表彰されました。

青森県看護協会会長表彰の12名の方々が紹介され、受賞者を代表して壬生寿子様が「看護の発展のため尽力していきたい。看護の力で、健康な社会づくりに貢献していきましょう」とご挨拶されました。また、日本看護協会会長表彰者の山本春江様、青森県看護功労者知事表彰の20名の方々も紹介されました。

午後の特別講演は、ケアプロ株式会社代表川添高志氏による「看護の力で健康な社会を〜看護ベンチャーの挑戦から〜」と題して、オンラインで開催されました。看護の力で、キュアからケアへ出会いと支えが大切。そして、それを本当に必要としている人が、どれだけいるのかアクションする段階で調査・研

究し自分が一番詳しくなることが大切であること。「セルフ健康チェック」「24時間365日訪問看護」「サッカーナース」等、看護師として起業し取り組まれている事業について、これまでの過程や具体的な内容を詳しくご講演いただきました。

会場からの質問も多く寄せられ、訪問看護に関すること、看護師として、短命県返上の課題である健康診断の受診率向上などのヒントにつながる気付きの多い講演内容でした。

また、会場ではNursing NowキャンペーンPRの一環として、役員・関係者がお揃いのTシャツを着用して参加していました。

記：広報出版委員会 山口 道代



壬生 寿子 様



役員・職員はキャンペーンTシャツを着用しました

## 受賞おめでとうございます

令和3年度青森県看護協会  
名誉会員となって

対馬 庸子

この度は、過分で過大な評価をいただき誠にありがとうございます。

三十代半ばに弘前大学の恩師に、助産師の発展の活動をしましょうと誘われたのが、看護協会活動の馴れ初めでした。それからの時間は瞬く間に流れ、各種様々な活動をさせていただきました。

今後は、これからの看護協会の発展を温かく見守らせていただこうと思います。

令和3年度青森県看護協会会長  
表彰を受賞して

壬生 寿子

受賞者を代表しこの度、身にあまる賞をいただいたこと、心よりお礼申し上げます。

受賞者それぞれの体験は違いますが、持ち合わせている力を発揮し、今日まで勤めてこられたのも、看護協会会員皆様方のご指導ご助力があつてのことだと感じております。

今回の受賞を新たな出発点として、今後とも看護の発展のために尽力してまいります。

令和3年度日本看護協会会長  
表彰を受賞して

山本 春江

今回の受賞には多くの支えがありました。特に、道の駅「ゆ〜さ浅虫」に「まちの保健室」を立ち上げたときには、本当に多くの皆さまにご協力いただき、それが今も続いていることにも、心から感謝申し上げます。

この度はどうもありがとうございます。

# 新型コロナウイルス感染症に係る県外応援派遣!!

本年5月、宮城県看護協会の要請を受けた日本看護協会から、派遣協定を締結している本県に看護師の応援派遣依頼がありました。本県からは、青森労災病院 感染管理認定看護師 渡辺季代子さん(わたべ きよ代)さんが派遣され、仙台市内の宿泊療養施設で応援業務に当たられました。今回、派遣された渡辺さんから貴重な体験談をいただきました。

独立行政法人労働者健康安全機構青森労災病院 渡辺 季代子

今回、新型コロナウイルス感染拡大で緊急事態宣言が発出された宮城県から看護師の派遣要請があり、4月12日から16日まで宿泊療養施設で看護業務に就きました。昨年度は、COVID-19陽性者の「宿泊療養に係る職員研修」に一部携わる機会もあり、少しでも支援ができればと思い参加しました。

私は、1週間前から療養者の受け入れを開始したばかりの療養施設に配属され、療養者の前日夕方と当日朝の容体聴取や入退所者の対応を行いました。その中で、療養者から療養上の不安な気持ちなどを聞くことができました。また、普段の病院勤務では交流できない各地域から派遣協力のために集った看護師の方達と情報交換ができて、とても刺激を受けました。この経験を今後の看護に活かしていきたいと思います。



宮城県知事からお礼のメッセージをいただきました

謹啓 時下ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、本県において新型コロナウイルス感染症陽性患者が急拡大したことから、医療機関や宿泊療養施設で患者の対応に当たる看護師の応援派遣を要請したところ、貴協会におかれても大変困難な状況の中、迅速に派遣いただき、誠にありがとうございました。

派遣いただいた看護師の方々の御尽力が大きな支えとなり、新型コロナウイルス陽性患者は減少に転じ、ようやく落ち着きを取り戻しつつあるところです。

今後は、引き続き適切な医療が提供できるよう取り組むとともに、ワクチン接種の進捗に全力を挙げ、早期の収束に向け努めてまいります。

今般の御厚意に改めて感謝申し上げますとともに、貴協会のますますの御発展を祈念申し上げ、略儀ながら書中をもって御礼の挨拶といたします。 謹白

令和3年6月1日  
公益社団法人 青森県看護協会 会長 様

宮城県知事 村井 嘉浩

## 病院紹介 ～藤代健生病院～

藤代健生病院は弘前市にある定床244床の精神科単科の病院です。

今年度は4名の新卒新人看護師が入職しました。

当院ではエルダー制をとっていて、看護部教育研修委員と一緒に情報共有しながら新人教育・育成に取り組んでいます。入職直後は精神保健福祉法や看護倫理や薬剤療法などの講義、感染予防対策や注射技術・口腔ケアなどの基本的な看護技術の演習を行いました。集合研修を終え4月中旬から病棟業務が始まっています。エルダーや先輩の指導の下でどんどん成長していく姿が頼もしく今後に期待しています。

記：広報出版委員 中西 奈美



新人とエルダー



研修風景

### 新人看護師Aさん

春から認知症治療病棟に配属になりました。

認知症患者さんの精神症状と身体症状の両側面を観察する難しさを感じています。エルダーさんや先輩看護師さんの動きに近づけるよう、日々アンテナを高く張りながら患者さんの全体像をつかめるような看護師として成長していきたいです。

技術も知識もまだまだですが、病棟スタッフや研修委員など多くの支えてくれる先輩方に感謝して学習を続けながら前進していきます。



### エルダー看護師Bさん

4年目になり初めてエルダーとしての役割を任せられました。

不安やとまどいもありますが、新人さんの成長を一番身近に感じることができ、とてもやりがいを感じています。自分が新人だった時に「どのようなエルダーだったら聞きやすかったか・わかりやすかったか」などを思い出しながら日々新人さんに関わるようにしています。指導する立場ではありますが、わからないことや不安なことは一緒に確認し調べながら、お互いに学んで成長できればいいと思っています。



# 令和3年度「看護の日・看護週間事業」

NEW

未来のナーストークイベントを開催しました

次世代の看護職の人材を確保するために、看護の魅力を学生に伝え、進路選択への後押しとすることを目的に、**当協会では初めての**、県内の看護職を目指す高校生と看護職によるトークイベントを開催しました。

看護職を目指す多くの学生に参加していただきたかったのですが、コロナの感染拡大防止の観点から無観客で行い、その様子はホームページで配信しています。

※トークイベントは今後冊子にし、進路選択の動機づけとなるよう、関係機関へ配布する予定となっています。

開催日時：令和3年5月15日(土) 13:30～15:00

開催場所：県民福祉プラザ4階 県民ホール

参加者：青森県看護協会会長 征谷 京子 青森北高校 3年 吹田 愛華さん

フリーランス助産師 橋爪 直美さん 青森明の星高校 3年 猿賀 心希さん

三沢市立三沢病院 田中 心吾さん 青森南高校 3年 木村 芽生さん

司 会：フリーアナウンサー 坂口 千夏さん



看護の心をみんなの心に

5月12日は  
看護の日

緊張しながらも、看護職になりたいと思ったきっかけや、どんな看護職になりたいか…など、たくさんお話がぎけました



イベント終了後

吹田さん…今日の事を活かし立派な看護職になりたい!

猿賀さん…今やっていることを無駄にせず、将来のビジョンを明確にし頑張ります。

木村さん…同じ看護職を目指す仲間と話すことで刺激も受けたいし、とても勉強になりました。

3人ともとてもしっかりしていて、心強い決意表明も。

ガンバレ! 未来のナース達

NEW

県内の中学生を対象に「看護」の標語を募集!! 応募者数：1,763名

看護の日・看護週間事業の一環として、【看護】について考え、魅力ある職業としての【看護職】を知ってもらうことを目的に、県内の中学生を対象に看護をテーマにした標語を募集しました。

1通もこなかったら…とハラハラしていましたが、たくさん応募いただき、**本当に嬉しい!!** 読みながら、思わず笑みがこぼれるような**ほっこり**する作品がたくさん届きました。

どの作品が選ばれるかお楽しみに!!



最優秀賞 1作品  
優秀賞 2作品  
佳作 10作品  
を選定します。

## 2021年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル開講式

令和3年6月29日(火)、9時30分から青森県立保健大学C棟N-講義室1において、青森認定看護管理者教育課程実行委員会主催による初めてのセカンドレベル開講式が執り行われました。

その後、青森県内の各地および隣県の岩手県、北海道函館市から36名が顔を揃え、県立保健大学学長、当協会会長はじめ運営に関わる職員を交え、気取らない雰囲気の中で密を避け、受講者を2組に分けて、スツピンで記念写真を撮影しました(要修正、否拡大)。

9月3日までねぶた(今年も中止ですが…)とお盆のお休み期間があるとはいえ連日の講義、受講者の皆さまの健闘を心より祈念いたします。 記：教育研修課長 岸田 公子



## 保健師職能委員会コーナー

### 自治体保健師の仕事説明会

4月24日(土)、日本看護協会主催の「自治体保健師の仕事説明会」がオンラインで開催され、「看護師から転職した保健師に質問できる部屋」でお話させていただきました。

小児科の看護師から保健師へ転職した経歴をお持ちの八王子市の黒田保健師の進行により、事前に参加者の方々からいただいた質問に回答するという形式でのセッションを、前半・後半の2回(各40分)に分けて行いました。参加者は前半が109名、後半が66名(画面上の表示。最大人数)でした。

事前質問は多数いただいており、また、セッション中もチャットでのご質問をいただいたことから、保健師への転

職についての関心の高さに驚きました。質問の内容は、「なぜ看護師から保健師になろうとしたのか」「働きながらの公務員試験の勉強は、どのように行ったか」「臨床経験は保健師活動に役立ったか」「保健師としてのやりがいは何か」「仕事と育児の両立は可能か」「臨床から転職すると保健師としては新人だが、とまどいなどはなかったか」などが挙げられていました。また、「男性保健師が母子保健を担当することに抵抗はなかったか」といった質問もありました。

青森県内でも、看護師・助産師から転職した保健師が活躍しています。公衆衛生看護活動をしてみたいという方がいましたら、ぜひ一緒に活動しましょう！

記：保健師職能委員会 副委員長 種市 雅(六戸町役場)



日本看護協会 特設サイト「自治体保健師になろう」(令和3年7月1日 <https://www.jichitai-hokenshi.jp>)

日本看護協会ホームページでは「自治体保健師になろう」サイトを掲載しており、2021年4月24日(土)にオンラインで開催された「ここでしか聞けない保健師の仕事のコト」のアーカイブを公開しております。是非、ご覧ください。

## 助産師職能委員会コーナー

### コロナ禍における災害時母子支援フォーラム

6月4日(金)に「コロナ禍における災害時母子支援フォーラム」を青森県防災危機管理課後援で開催しました。行政・県、災害支援ナース、むつ保健所保健師から、災害時の取り組み、支援課題について情報提供がありました。

講師の吉田穂波先生は、東日本大震災後、熊本震災、関東豪雨水害等の被災地における母子保健システムの中で、産婦人科医の立場から「災害時要配慮者のための福祉避難所」構想の先駆者としての確かな提言を取りまとめ、多職種の研究チームで母子に必要な支援を明らかにしてきました。現在も産婦人科医で医学博士、神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーションスクール教授として活躍されており、テーマ「教訓から学ぼう～災害時にいのちと健康を守る母子支援の必要性～」について、6人の子どもを産み育てた経験から支援を受ける側の視点にも立って、支援の現状と課題、解決策などとても貴重なお話を伺う場となりました。

次世代を守るために地域でできること、母子の緊張を緩和できる場所の確保や妊産婦・乳幼児にも適切に支援を行



三密を回避しての開催

える資源や人員確保、医療・保健・行政・地域が災害時に協働で機能するような基盤と平時から顔の見える関係で多職種連携ネットワークの構築が大切だと実感したフォーラムでした。

記：助産師職能委員会 委員長 橋爪 直美(個人会員)

令和3年9月10日(金)に産後ケア事業推進交流会を開催予定です。

## 看護師職能委員会 I・II コーナー

看護師職能委員会は、IとIIに分かれており、それぞれ領域が異なります。Iは「病院」領域、IIは「診療所、介護・福祉関係施設、在宅等」領域です。お互いの領域での現状や課題解決に向けて、委員会の中で話し合い、交流会や実態調査を企画しています。

また、年2回は合同で委員会を開催しており、情報交換等を行いながら、お互いの事業がより現場の看護職に活かせるよう進めています。

これからも協力連携しながら、職能の向上を目指していきたいと思えます。



今はコロナ禍で看護協会に来られない委員もいるため、Zoomを用いて委員会を開催しています。

### 看護師職能委員会 I 報告

#### 「外来看護職の在宅療養支援に関する実態調査」について

看護協会の重点課題である「看看連携の推進」に繋がる事業として、2019年度から「外来看護職の在宅療養支援に関する実態調査」に取り組み、2020年度皆様のご協力をいただき、調査をまとめることが出来ました。結果は、第50回青森県看護学会で発表を予定しております。

各病院の現状やジレンマを知ることができ、地域包括ケアシステムの推進に向けて今後取り組む課題が明らかになりました。

在宅療養支援に関する研修会開催の要望も多く、今年度は外来看護師の在宅療養支援について事例紹介と講義を予定しています。皆様と意見交換を行い地域包括支援の1歩をすすめることができると企画しました。

今後とも委員会の活動にご協力よろしくお願ひいたします。

記：看護師職能委員会 I 委員 中川原舞子(八戸平和病院)

看護師職能 I・II の調査結果については、令和3年度青森県看護協会通常総会要綱に掲載されておりますので、ぜひご覧ください。

〔看 I：P192～193 看 II：P195～198〕  
また、どちらも令和3年10月2日(土)開催予定の『第50回記念青森県看護学会』で示説発表予定です。

### 看護師職能委員会 II 報告

#### 「青森県の訪問看護師がうける利用者・家族からの暴力に関する実態調査」について

令和2年度看護師職能委員会 II では、訪問看護師の働きやすい職場づくり、よりよいサービス提供を継続するための課題を明確にするため、「青森県の訪問看護師がうける利用者・家族からの暴力に関する実態調査」をいたしました。

調査は、青森県内の訪問看護ステーション132事業所の内、58名の管理者と102名の看護職員の方からご回答をいただきました。

その結果、訪問看護ステーションの管理者および看護職員の3割が、身体的暴力、精神的暴力、セクシャルハラスメントのいずれかを体験していることが分かりました。そして、管理者からは、「暴力に対する対応の仕方がわからない。」また、職員からは、「今後の対応について話し合う場をもってほしかった。」という意見が聞かれました。以上から、令和3年9月には、訪問看護師が受ける暴力に関する研修を企画いたしました。多くの参加をお待ちしております。

今後も委員会では、職能 II 領域の看護師の課題解決に向け活動してまいりますので、皆様からのご意見をお待ちしております。

記：看護師職能委員会 II 委員 天摩 典子  
(東北医療福祉事業協同組合)

# 支部だより



## 東青支部

### 東青支部集会・シンポジウム

東青支部は、令和3年5月22日(土)にワ・ラッセで支部集会とシンポジウムを開催しました。

シンポジウムは「高齢者のアドバンスケアプランニングの実現に求められる看介連携」をテーマに、「自宅で過ごしたい」という利用者と家族の思いを実現した介護現場でのケアについての報告から、連携の意味と意義を深く考える機会となりました。会場に足を運ぶことが難しい中、その場の「空気」「熱」を感じることが、私たちの原動力になると実感した1日でした。



シンポジウムの様子

新年度は6名の役員が交代します。これまで支えてくれた役員の皆様、本当にありがとうございました。

記：東青支部長 木村 香

## 中弘南黒支部

### 中弘南黒支部集会を終えて

令和3年度支部集会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため急遽役員のみ20名での開催となり、参加予定でありました会員の皆様には本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。柗谷会長より令和3年度重点事業の概要をお話ししていただきましたが、支部会員の皆様と対面しご挨拶できず、非常に残念に感じております。

今年度は8名の役員交代があり、6月より新しいメンバーで一年間活動を行っていきます。今後の活動内容としては、「新人看護師離職防止に向けた関わり」に



中弘南黒支部集会の様子

についての学習会開催や会員拡大に向けての取り組みの検討を考えております。今後も看護協会重点事項に基づいた会員教育を企画・運営していきたいと思っております。

記：中弘南黒支部長 澤 恵

## 三八支部

### 三八支部集会・春の研修会

令和3年5月22日(土)八戸総合保健センターで、感染予防の観点から新旧役員のみでの令和3年度三八支部集会を開催しました。令和2年度活動と令和3年度活動目標を報告し、決議されました。

令和3年春の研修会は「認知症の共生と予防」のテーマで青南病院院長の深澤隆先生にご講演頂きました。現場ケアにすぐ実践できるビデオの紹介もあり、ぜひ参加役員の方々には伝達講習で、現場の認知症ケア向上に活かしていただきたいと思っております。



講師の青南病院院長 深澤 隆 先生

今後も感染対策をしながら新役員一同支部活動を有意義なものにしていきたいと考えております。

記：三八支部長 武部 克子



## 西北五支部

### 西北五支部集会

オルテンシアにて令和3年度5月22日(土)出席者54名、委任状464名により開催されました。事業報告、事業計画、経費割り当てを報告後、新旧役員の紹介があり閉会となりました。皆様ご協力ありがとうございました。

### 第1回研修会

支部集会終了後、5施設の実践報告会が開催されました。看護職・介護職の63名が参加しました。「他施設の活動を知ることができて良かった」「新型コロナ



令和3年度第1回研修会

対策と現状について知ることができた」等の意見があり大盛況で終了できました。支部の看護力の向上に繋がる研修会を今後も企画していきます。

記：西北五支部記録係 當麻 昌子

## 下北支部

### 下北支部集会及び研修会

日時：令和3年5月22日(土)

内容：「セルフケアマッサージ」

講師：Canal工房さとう式リンパケア公認インストラクター  
MRTマスター 大高 香苗氏

令和3年5月22日(土)公済会館において、令和3年度下北支部集会及び第1回研修会が開催され、支部集会では新役員5名の紹介がありました。

研修会では、講師にCanal工房さとう式リンパケア公認インストラクター MRTマスターの大高香苗氏を迎え、「さとう式リンパケア」について学びました。



令和3年度第1回研修会「セルフケアマッサージ」

セルフケア前は床に指先が付かなかった参加者の一人は、リンパケアを通して自分の体と向き合い、実践することで、床に手が付くようになりました。看護職が健康で働き続けるために、みなさんもセルフリンパケアを始めてみてはいかがでしょうか。

記：下北支部 広報担当 坪田 成美

## 上十三支部

### 上十三支部集会・看護研修会

令和3年5月22日(土)三沢市国際交流教育センターにて、上十三支部集会が総会員数1,013名、委任状提出731名、出席者数87名で開催されました。

令和2年度の活動と令和3年度の計画等の報告後、今年度は支部長の交代があり、下山支部長から田荷新支部長となりました。

支部集会後の看護研修会では十和田市立中央病院整形外科 板橋泰斗先生を講師に迎え「骨粗鬆症治療の重要性とその合併症について」と題し、貴重な講演を頂



令和3年度役員集合

きました。先生どうもありがとうございました。

記：上十三支部幹事 永倉 裕樹



## 新任のご挨拶



### 常務理事兼ナースセンター長 前田 隆子

この度、事業課・ナースセンターを担当させていただくことになりました前田です。  
新型コロナウイルス感染症に日々立ち向かう看護職に感謝申し上げます。  
看護職は、多様な場面での役割を発揮することが求められ、専門職として働き続けられるように働き方を支援させていただきますので、よろしくお願いします。



### ナースセンターチームリーダー 島谷 綾子

4月から看護協会(ナースセンター)に勤務させていただいております。昨年は新型コロナウイルス感染症が猛威を振り、メディア等で毎日看護職の必要性が叫ばれました。潜在看護師として過ごしていましたが、コロナ関連の仕事をきっかけに、未だ私に何かできることがあるかも知れないと思いました。相談員としては駆け出しですが、求人・求職者共にwin winのマッチングができるよう心がけますので、よろしくお願い致します。

## 看護職の求人情報を求めて 毎日奔走しています!!

青森県地域医療構想に基づき、弘前市立病院は独立行政法人国立病院機構弘前病院と機能統合、令和4年3月31日に閉院し、令和4年4月1日に(仮称)弘前総合医療センターとして新中核病院が開院する予定です。

さて、閉院する弘前市立病院職員の処遇ですが、医療技術職及び看護職の正職員は、希望すれば国立病院機構の職員として採用されます。家庭の事情等で希望しない職員もあり、希望しない職員と会計年度任用職員(いわゆる正職員以外の職員)は閉院とともに免職となります。地域医療を守っていくには医療スタッフの確保が必要不可欠です。

そこで、地域医療・救急医療に貢献してきた優秀な看護職の就業先を、何とか探すことはできないかと模索していたところ、青森県ナースセンターと連携し定期的な就業支援を行うことになりました。

今後、職員の採用予定のある医療機関等においては、求職している弘前市立病院職員の採用をご検討していただきたいと考えております。

関心のある医療機関等は、青森県ナースセンターに求人登録をしていただくと共に、ぜひ弘前市立病院事務局総務課までお問い合わせください。  
(TEL 0172-34-3211)



弘前市立病院  
総務課 種市 穂氏

## ナースセンター説明会 in 弘前市立病院

令和3年6月10日(木)弘前市立病院でナースセンター説明会を実施し、看護職員40名が参加し熱心にメモを取っていました。終了後「ホームページから届出ができるんだね」「気になる職場が見つかったら就業や施設見学のアポイントを取ってもらえるのか」「3月で退職予定だが、そのとき仕事探しをしても大丈夫か」等質問がありました。まずはナースセンターへ登録することが求職への第一歩です。気軽に電話やメールで相談して欲しいと思います。

記：青森県看護協会 ナースセンター 島谷 綾子

### ナースセンターは今後も弘前市立病院と連携します。

院内にナースセンター臨時相談窓口を設置しますので、ぜひご利用ください!

#### 1. 相談員の業務

- (1) 就職相談
- (2) 職場復帰のための相談
- (3) 青森県ナースセンターへの登録方法
- (4) その他看護の仕事に関すること等、ご相談に応じます。

#### 2. 相談日

	相談日時
①	7月29日(木) 15:30~16:30
②	9月21日(火) 15:30~16:30
③	10月28日(木) 15:30~16:30
④	12月16日(木) 15:30~16:30

\* ナースセンターでの相談も可能です。

## 頑張っています!! コロナ宿泊療養者を支えるホテル対応ナース

コロナ宿泊療養施設では、26人の宿泊療養対応ナースが働いています。  
勤務するKさんよりコメントをいただきました。

退職してから4年経過し、毎日家でテレビを見て過ごしていた昨年11月、コロナ宿泊療養施設で働くナースを募集していると連絡をいただきました。最初はコロナに感染したらと思う気持ちと、退職してから4年も経ち仕事を忘れていくことも多く、働くことが心配でした。オリエンテーションや研修を受け、一緒に働く仲間たちの志の高さをみている内に徐々に気持ちが変わり、療養施設で働くのは看護師免許を持ったものにしかできない使命だと考えるようになりました。



は携帯が鳴る度に急変等を考えドキドキすることもあります。

しかし、毎日のミーティングや医師や仲間との情報交換、勤務応援などが日々の業務の安心に繋がっています。仕事を始める前はテレビのリモコンを持っていた手に、今では連絡用スマートフォンが欠かせないものになっています。コロナに対応する看護職への偏見は未だありますが、宿泊者が回復し御礼の言葉やお手紙等をいただくと、この仕事をして良かったと思います。看護職にしかできない仕事があります。何か協力したいと思っているなら、まず一歩踏み出しましょう。



主な業務内容は宿泊療養者の健康管理・健康相談、宿泊療養者の状態変化時の医師への報告、ゴミの回収等です。宿泊者の体調確認は電話対応のやり取りが命綱のため、症状悪化のサインを見逃さないよう神経をとがらせます。入所時や健康状態によってはかなり緊張することもあり、防護具の着用等気が抜けません。また、夜間のオンコール時

### 看護職の免許をお持ちの方で現在就業されていない方へ

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、医療・介護施設等で看護職の就業が求められています。医療機関にも大きな影響が及んでおり、看護職は最善を尽くして感染拡大防止や診療など、日夜業務に従事しております。

ワクチン接種や宿泊療養施設で看護職が必要とされており、医療・介護現場だけでなく保育所、学校、電話相談などでも就業が求められ、さらなる人員不足が懸念されます。現在働いていない看護職の皆様、復職をご検討いただけたらと思います。

まずは、青森県ナースセンターへお問い合わせください。

TEL 017-723-4580

緊急のお願いです。  
あなたの力をお貸しください

コロナワクチンの接種が始まります。  
ナースセンターは対応する看護師を求めています。  
ご協力の方は裏面の申込書にご記入の上、FAXまたは郵送、  
もしくはお電話でご申込みください。  
ワクチン接種される方が早期に接種できるよう  
皆様のご協力をお願いします。

### 情報提供

新型コロナウイルス感染症にかかるワクチン接種業務の従事者に、就業支援のため1人1回3万円が給付されることになりました。給付のための要件は以下のとおりです。

ナースセンターにワクチン接種業務への就業希望登録

必要なワクチン接種研修を受講

令和3年5月21日以降7月31日まで雇用されてワクチン接種業務に従事した者を対象

※在籍出向等所属元の命令に基づき従事する場合は対象外となります。  
要件を満たしている方はナースセンターにご連絡ください。



# 医療・看護安全委員会から

令和3年5月7日に令和3年度青森県医療安全担当者研修会・交流会(前期)を開催しました。

講演は弘前大学大学院医学研究科医療安全学講座教授大徳和之先生に「医療事故発生時の早期対応」について、医療事故発生時の基本行動を弘前大学医学部附属病院での例を紹介しながらわかりやすく講義していただきました。受講者から「事故発生時の医療安全管理者の役割と患者・家族への説明のタイミングの大切さが分かりました」「『逃げない・隠さない・ごまかさない』ことは信頼関係上とても重要であることを学びました」という感想がありました。

午後からは参加者25名で患者誤認事例をもとに、部署の責任者の立場での対応についてグループワークを行いました。事例を通し、「他施設の活動内容を知ることができた」「他施設の取り組みや悩みを知ることができた」等の声が聞かれました。

全体を通して、「自施設で何が起きているのか皆で周知し、よりよい病院にしたい」との決意の言葉もありました。



後期の青森県医療安全担当者研修会・交流会は12月17日(金)に開催します。午前は日本看護協会参与弁護士・看護師・保健師の友納理緒先生を講師に迎え、「開示や訴訟に耐える看護記録」をテーマにお話しいただきます。午後は転倒転落についてグループワークを行う予定です。皆様の参加をお待ちしています。

また当委員会では患者誤認に関する方針・手順をまとめ、協会ホームページに掲載しております。各施設での取り組みを検討する際に役立てていただきたいと思います。

記：医療・看護安全委員長 野宮 恵子

## 推薦委員会からのお知らせ

令和4年度改選役員の推薦候補者を募集します。  
令和3年9月30日(木)までに、推薦委員長まで届けてください。

### 改選役員名と人数

定款細則第6条に基づいて令和4年度の役員を次のとおり改選します。

【役員】

- |                          |      |
|--------------------------|------|
| (1) 会長                   | 定数1人 |
| (2) 理事(助産師職能)            | 定数1人 |
| (3) 理事(看護師職能Ⅰ)           | 定数1人 |
| (4) 地区理事<br>(東青・中弘南黒・下北) | 定数3人 |
| (5) 監事                   | 定数1人 |

### 推薦基準

- (1) 青森県看護協会の目的に沿って組織を強化発展させるよう実践できる人
  - (2) 本会の実情をよく知り、定められた会議に出席し、積極的に任務を遂行できる人
- ※推薦していただいた方々については推薦委員会で協議の上、候補者として推薦させていただきます。

### 推薦方法

推薦を行う場合は、被推薦者の承諾を得てから、所定の用紙に記入の上、推薦委員長に届けてください。  
※届出用紙は総務課へお問い合わせください。

### 届出先

〒030-0822  
青森市中央三丁目20-30  
県民福祉プラザ3階  
公益社団法人青森県看護協会  
推薦委員会 委員長 宛(親展)

### 問い合わせ

青森県看護協会 総務課  
電話：017-723-2857

**TUK 東洋羽毛**

## 睡眠セミナー

Sleeping Seminar

講師を無料で派遣いたします。

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務めるセミナーをご用意しています。

東洋羽毛北部販売株式会社 青森営業所  
〒030-0121 青森市妙見1丁目5-10 ☎0120-389553

よく眠った人にはかなわない

新刊イメージブック 桃井かおりさん

「お困りなされる方へ」  
 ●医療安全対策研修  
 ●メンタルヘルス研修  
 ●学校保健委員会  
 ●高齢者の看護ケア

**BS放送・インターネット等で学べる**  
仕事をしながらマイペースで学習できます。

**放送大学**

資料請求・問合せ 「放送大学」

看護師の特定行為研修  
共通科目全科目(講義・演習部分)開講中!!

放送大学は正規の通信制大学です。  
入学は、4月・10月の年2回。  
看護師・准看護師のみなさんのキャリアアップを応援します。

青森学習センター  
TEL 0172-38-0500  
弘前市文京町3  
(コラボ弘大7F)

八戸サテライトスペース  
TEL 0178-70-1663  
八戸市一番町1-9-22  
(ユートリー4F)

室内浮遊菌  
浮遊ウイルスへの  
対策

イオンレス™(次亜塩素酸水)  
**シーエルフイン®**

室内噴霧による  
浮遊菌除菌、浮遊ウイルス減少

付着菌除菌、付着ウイルスの減少

ドアノブ、手すり、壁や窓など  
手の触れるところに

(資料請求先)

**NIPRO**  
販売 ニプロ株式会社  
大阪市北区本庄西3丁目9番3号

2021年5月

**編集  
後記**

仕事や生活に対する新型コロナウイルス感染症の影響はまだまだ落ち着きそうにありませんが、広報活動を通じて少しでもみなさまを応援できればと思っています。今年度もよろしくお願いたします。

(青森県看護協会 広報出版委員一同)